

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 3 月 1 日作成)

小委員会名	文化遺産災害対策小委員会	主 査 名：足立裕司 就任年月：2017 年 4 月 1 日
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会	委員長名：石田潤一郎
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2021 年 3 月 21 日	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築歴史・意匠関係者だけでなく、耐震、防火をはじめとする様々な関係者から情報を集め、文化遺産の災害への対応策定を目的として調査研究。 ・ 地震時に被災した文化遺産の被害調査と今後の応急対策の検討。 ・ 文化遺産の保全に際して生じる耐震補強、火災対策、建築基準法に関連する諸問題についての検討。 ・ 関係学会、機関による研究・対策等に関する情報収集と連携。 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：足立裕司 (神戸大学名誉教授) 幹事：後藤治 (工学院大学) 委員：稲垣景子 (横浜国立大学)、梅津章子 (文化庁)、大窪健之 (立命館大学)、大橋竜太 (東京家政学院大学)、長谷見雄二 (早稲田大学)、花里利一 (三重大学)、藤田香織 (東京大学)、益田兼房 (文化財建造物保存技術協会)、村上裕道 (橘大学)、八木真爾 (佐藤総合計画)、安井昇 (桜設計集団)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2018 年度予算	170,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 (歴史的建造物保存制度 WG との拡大委員会兼研究会)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1. 該当なし
講習会	1. 該当なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1. 該当なし
大会研究集会	1. 該当なし
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	1. 該当なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 上記委員会は拡大研究会として一般に公開し、実質上のシンポジウムとして企画・開催した。 2. 活動計画に掲げた目標に沿って多領域の活動を包摂した研究会が開催できたので、達成度としては大旨満足できるものであった。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 今年度の拡大委員会は形式的にはシンポジウムとして企画しているが、多分野からのパネリストの選考等の手続きに時間を取られ、規程上のシンポジウムとはならなかった点は改善する必要があると考えている。